

研究員 の眼

長生き応援「未来年表」と 「Wish List」の薦め

生活研究部 ジェロントロジー推進室 上席研究員 前田 ^{のぶひろ}展弘
(東京大学高齢社会総合研究機構/未来ビジョン研究センター 客員研究員
慶応義塾大学ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター 訪問研究員)
(03)3512-1815 maeda@nli-research.co.jp

筆者が専攻するジェロントロジー (Gerontology) は、“年を重ねることをより前向きに捉えられる社会” にしていくことを目指している。しかしながら、世の中に飛び交う未来に関する情報はどこか「不安」ばかり煽られる内容が多いように思われる。そこで本稿では、少しでも“長生きに価値と希望”を持てることを応援する視点から、次の「未来年表」と「Wish List」を紹介したい。

■長生きすることは「未来」を歩むこと～ポジティブな「未来年表」

「人生 100 年時代」という言葉がすっかり世の中に浸透してきたなかで、いつまで自分は生きていけるのか、と人生の長さについて思いを巡らせる機会も増えたのではないだろうか。若い人にはあまり該当しないかもしれないが、少なくとも中年以上の年代にとっては、「〇〇年には〇〇のことが実現する」といったニュースを見るたびに、「自分には関係ない、いや何とか見えるかも」と思われなかっただろうか。

このことに関連して「長生きの価値とは何か」を考えたとき、一つの大きな価値は“未来を見れる”ということが挙げられるであろう。子供や孫の成長が見れる、社会の新しい変化が見れる、体験できるということも、長生きしなければ実現できない。実際、昭和から平成、令和にかけて、社会の様相は大きく変化した。これだけ携帯電話やネット社会が普及したことを昭和の当時、想像できたであろうか。良くも悪くもこうした変化を体験できることは“生きている”からこそのことである。そこで「長生きを応援したい」という趣旨から、次のような未来年表を作ってみた。未来に関する予測には様々なことがあるが、ここではよりポジティブな視点に立って筆者が「見たい、知りたい、気になる」という項目 (予測) だけを挙げてみたものである (図表 1)。

ご覧いただくように、昨年 (2021 年) の東京、今年 (2022 年) の北京で盛り上がった「オリンピック、パラリンピック」は今後も世界各地で開催されていく。新幹線も全国各地に拡張していく。リニア中央新幹線の開業も待たれるところである。また人工知能 (AI) の発展による技術革新は、これからも大きく暮らしを変えていくことになるのであろう。モノや製品、ロボットと会話して共生する生活が“普通”の暮らしになっていくかもしれない。AI 技術によって「言葉 (外国語) の壁」も近い将

来、取り除かれていくことも期待される。そうなれば、外国での旅行や生活、外国人とのコミュニケーションもよりスムーズになり、あらゆる視界がさらに広がっていくようになるかもしれない。さらに、宇宙との距離も更に近づいて身近なこととして「宇宙旅行」を体験できる日も訪れるかもしれない。

こうした未来年表も眺めながら、将来（人生）を楽しみに前向きに歩いていただきたいところである。

図表1: ポジティブな未来年表(2022~2050年)

2020年代	1	西九州新幹線（武雄温泉～長崎間）開業（2022）	※1
	2	インドが人口で中国を抜き世界1位に（2022）	※2
	3	北陸新幹線（金沢～敦賀間）開業（2024）	※1
	4	『フランス（パリ）2024夏季オリンピック・パラリンピック』開催（2024）	-
	5	『大阪・関西万博』開催（2025）	-
	6	人工知能（AI）を搭載したインテリジェント住宅が登場、住宅と会話する時代へ（2025）	※3
	7	文脈・話者の意図等を補う人工知能（AI）同時通訳が実現（2025）	※1
	8	無人レジの比率が30%を超える（2025） ※2020年は1%	※1
	9	月に人が長期滞在できる拠点設置（2025）	※4
	10	一般家庭で介護、家事などを支援するロボットが実用化（2026）	※3
	11	火星移住計画スタート（2026）	※5
	12	『イタリア（ミラノ・コルティナダンペッツォ）2026冬季オリンピック・パラリンピック』開催（2026）	-
	13	リニア中央新幹線（品川～名古屋間）開業（2027）	※1
	14	巨大小惑星「1999AN10」が地球から約39万m（ほぼ月までの距離）まで接近（2027）	※1
	15	『アメリカ（ロサンゼルス）2028夏季オリンピック・パラリンピック』開催（2028）	-
	16	高齢者の外出を促すアシストネットワークロボットが実用化（2028）	※3
	17	携帯電話、6Gの導入が始まる（2029）	※1
2030年代	18	自動走行車が完全自動で走行（2030）	※3
	19	人工知能（AI）が人間と自然な会話ができるようになる（2030）	※3
	20	北海道新幹線が全線開業（新函館北斗～札幌間）（2031）	※1
	21	『オーストラリア（ブリスベン）2032夏季オリンピック・パラリンピック』開催（2032）	-
	22	人の心身の状態を分析しすぐにアドバイスしてくれる超小型デバイスの実用化（2032）	※6
	23	個人の心理状態や感覚・味覚などを記録し、共有できる体験伝達メディアの実用化（2033）	※6
	24	都市部で人を運べる「空飛ぶ車・ドローン」の実用化（2033）	※6
	25	有人の火星探査が実現（2030年代）	※1
2040～50	26	宇宙エレベーターが実現！多くの人が宇宙旅行へ（2040）	※7
	27	宇宙旅行が100万円以下に（2041以降）	※8
	28	高齢者（65歳以上）人口が3935万人でピークを迎え、その後減少に転じる（2042）	※1
	29	リニア中央新幹線（名古屋～大阪間）開業、品川～大阪が約60分に（2045）	※2
	30	人工知能（AI）が人間の能力を追い抜く（2045）	※1
	31	自ら学習・行動し、人と共生するロボットが実現（2050までに）	※1
	32	100歳以上人口が約53万人になる（2050）	※1

（上記の出典）

※1: 野村総合研究所「NRI 未来年表 2022～2100」 ※2: 『日本の未来 100 年年表』(洋泉社発行、2017 年)

※3: 総務省「平成 27 年版 情報通信白書」 ※4: 宇宙航空研究開発機構「JAXA 長期ビジョン」(2005 年)

※5: オランダの民間非営利団体「マーズワン」による計画 ※6: 文部科学省「令和2年版 科学技術白書」

※7: 文部科学省科学技術・学術政策研究所 科学技術動向研究センター「第 10 回科学技術予測調査、分野別科学技術予測」

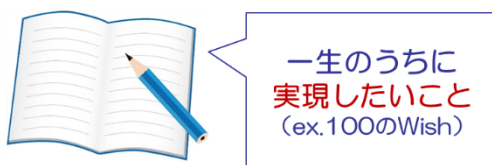
※8: 文部科学省科学技術・学術政策研究所 科学技術動向センター「将来社会を支える科学技術の予測調査 第9回デルファイ調査」

資料: 筆者作成

■「Wish List」で人生 100 年を彩り豊かに！

長生きを前向きに応援する観点からもう一つ「Wish List」（願いごとリスト）を紹介する。自分がしたいこと“Wish”（願い、希望）を書き出すリスト（ノート）のことである。『最高の人生の見つけ方』（2007年アメリカ、2019年日本）という映画の中で、余命半年を迎えた患者が最期までにやりたいこと（Wish List）を書き出してそれを実現していく姿が描かれている。そのように長い人生をかけて、自分がしたいこと、家族としたいことなど、50でも100でも書き出しながら、一つずつ実現していくような人生はどうだろうか。きっと楽しくなるに違いない。後世に必要なことを伝えるための「エンディングノート」が世の中に浸透してきたように、この「Wish List」も多くの人が作成され、実行されていくことを期待したい。

「Wishリスト」の作成と実行！



本稿は、前田展弘「長生きすることは『未来』を歩むこと」（みずほ証券「悠々」vol.9、2022年3月）を加筆・一部改編したものである。